

「医療とフォトジャーナリズム」

10月14日(月曜・祝日) 13時~16時 オンライン(Zoom)開催

われわれは今、グローバル・IT社会に生きている。
交通・通信の発達、メディアの激変、映像・動画の氾濫……。

誰でも写真、動画が簡単に撮れて発信でき、
拡散する時代であって、フォトジャーナリズムとは何か。

コロナ・パンデミック、ウクライナ、ガザ、気候変動、自然災害。
そして、地域、家族、人々の記録。

ファインダー越しに社会と時代を見つめるフォトジャーナリスト
たちと論議を深める。

≪主催者挨拶≫ 藤野 博史 (日本医学ジャーナリスト協会理事・西日本支部長)
≪司会≫ 中村 弥和 (西日本支部 常任幹事)

募集定員

先着100名

参加方法 *会員・非会員とも無料

- 会員の方は名前、メールアドレス、携帯電話番号、職業、所属(協会・支部)を記載し、支部事務局 (Mejawest@mejaw.jp) にメールでお申し込み下さい。
- 非会員の方は、QRコード、以下のPeatixイベントページ (<https://mejaw-shimbunweeksympo.peatix.com>) からお申し込み下さい。
参加者には、前日までにURLをお送りします。
問合せ=090-2082-9824(支部長・藤野)



第1部 講演(120分)



「心の糸 認知症を伝える
～写真記者の僕が見つめ続けて気づいた光～」

松村 和彦 京都新聞記者/フォトジャーナリスト
➢ World Press Photo部門賞受賞



「病者を加害者にする社会と見えなくなる人々
～コロナパンデミックとハンセン病取材を通して～」

小原 一真 写真家/ジャーナリスト
➢ World Press Photo部門賞受賞



「福島を見続け、世界を把握する
～東日本大震災被災地に移住して撮り続けたもの～」

岩波 友紀 写真家/フォトジャーナリスト
➢ 2020年ユー・ジーン・スミス賞受賞



第2部 パネルディスカッション「医療とフォトジャーナリズム」(60分)

コーディネーター



二ノ坂 保喜

このさかクリニック理事長
国際ホスピス・在宅ケア研究所
Bangladeshと手をつなぐ会代表
西日本支部会員

パネリスト

尾崎 孝

読売新聞大阪本社宣伝企画部主任
前写真部主任
西日本支部会員

松村 和彦

小原 一真

岩波 友紀

お問い合わせ

特定非営利活動法人
日本医学ジャーナリスト協会 西日本支部
〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-2-6-303

E-mail: Mejawest@mejaw.jp
Web: <https://mejaw.jp>
TEL: 090-2082-9824(支部長・藤野)